

令和4年度 五所川原市立東峰小学校グランドデザイン

経営方針 「未来に向かって、たくましく進む子の育成」

【経営の理念】

科学技術の急激な進展により、将来の変化が予測困難な時代に突入している。このような時代に求められるのは、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となるように未来を切り拓いていく力である。

そのためには、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という開かれた教育課程の実現とともに、「確かな学力の向上」、「豊かな心と健やかな体の育成」を目指し、心身ともにたくましさをも身につけた子どもに育てていかなければならない。

この目的を達成するために、私たちは教育者として他者から高い信頼を得るのはもちろん、常に研鑽を積みながら、一丸となって協働で指導にあたるのが重要である。

〈校訓〉	「叡智（かしこく）」	「人道（やさしく）」	「剛健（たくましく）」
〈教育目標〉	よく考え進んで学ぶ子	励まし合い仲良くする子	体も心もたくましい子

〈めざす学校像〉

- ◇楽しみや喜びのある学校
- ◇子どもを伸ばす学校
- ◇家庭や地域から信頼される学校
- ◇安心・安全な学校

〈努力目標〉

- ※めざす子ども像
- ◇ねばり強く学習に取り組む子どもを育てる
- ◇助け合って明るく生活する子どもを育てる
- ◇体や心をきたえ健康づくりに励む子どもを育てる

〈めざす教師像〉

- ◇子どもの心に寄り添う教師
- ◇常に学び続ける教師
- ◇保護者・地域から信頼される教師
- ◇コンプライアンス（服務規律、社会規範）意識の高い教師

【教育課題】

どんな課題にもあきらめずに
ねばり強く学習する子の育成

- ◆基礎学力の定着
- ◆学習習慣の定着
- ◆学習意欲の向上

【重点実践事項】

- 伝え合う力の育成
- 一日1回の発表
(発言を認める雰囲気づくり)

自他への優しさと厳しさをもって
何事にも挑戦する子どもの育成

- ◆奉仕の心
- ◆協調の心
- ◆規範の心

【重点実践事項】

- 心が伝わるあいさつの育成
- 全学年による朝のあいさつ運動
(2か月ごとの振り返り)

興味・関心をもって健康と
体力づくりに取り組む子どもの育成

- ◆健康意識の習慣化
- ◆安全意識の習慣化
- ◆体力意識の習慣化

【重点実践事項】

- 健康意識の向上
- 正しい手洗いの実践
(コロナ禍に対応して徹底)

求める行動指針 「目的意識をもちながら行動する」

【経営の重点】

〈確かな学力の育成〉

- ◇「主体的・対話的で深い学び」への授業改善。
- ◇基礎・基本習得と活用。
- ◇協働的に学びに向かう集団づくり。
- ◇ICT機器を活用した教育の実践。

〈豊かな心の育成〉

- ◇道徳の授業における指導方法の質的変換。
- ◇心に響くあいさつの実践。
- ◇生命尊重の態度育成。
- ◇キャリア教育の推進。

〈健やかな体の育成〉

- ◇体力づくりの推進。
- ◇教科体育の工夫。
- ◇基本的な生活習慣の確立。
- ◇望ましい食習慣の啓発。

〈生徒指導の充実〉

- ◇家庭・地域と連携した規範意識の醸成。
- ◇多面的な情報に基づいた児童理解。
- ◇全職員による組織的・協働的な指導体制の推進。

〈いじめへの対応〉

- ◇未然防止・早期発見。
- ◇積極的・組織的な危機管理体制の確立。
- ◇双方の児童と保護者に寄り添った対応。
- ◇日常の諸問題を自ら解決する態度の育成。

〈特別支援教育の充実〉

- ◇要支援児童の把握と実態に応じた支援。
- ◇校内支援体制の充実。
- ◇教育的ニーズに応じた適切な支援。
- ◇家庭や関係機関と連携した支援体制の充実。

〈開かれた学校〉

- ◇家庭・地域との連携。
- ◇家庭や地域の願いをふまえた教育課程の実施。
- ◇積極的な情報発信。
- ◇保小連携、小中連携の推進。
- ◇学区研による共通理解。

〈教職員の資質能力向上〉

- ◇教育公務員としての責務の自覚。
- ◇今日的な教育課題への取り組み。
- ◇組織的・継続的な校内研究の推進。